

米粉利用食品に関する県内大学生の意識調査結果

農林水産省は、平成 22 年度に係る関係予算概算要求において、米粉用を含む新規需要米に対する施策を充実させることとしており、米粉及び米粉製品の取り組みは、さらに強化されることが期待されている。

本調査は、現時点における米粉の位置付けを認識し、今後の方向性を探る基礎とすべく 10 月下旬～11 月末までの間に、山形県内の大学、短大、高等専門学校、大学校（以下、「大学等」という。）10 校の学生を対象に、各大学等の協力を得て実施した「米粉利用食品」に関するアンケート調査の結果概要である。

当該調査の有効回答者数は 563 名（うち大学職員 5 名）であった。

なお、山形県内の大学・短大に在籍する学生の数は、14,524 名（2008 年度版「図説やまがたのくらしと経済」より）とされていることから、本調査においてカバーした学生は、山形県内の大学・短大生の約 3.8% に相当する。

【調査結果の概要】

1 回答者の内訳

(1) 性別

男性	271 名 (48.1%)
女性	292 名 (51.9%)

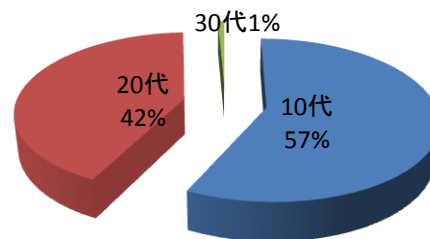
性別



(2) 年齢層

10代	322 名 (57.2%)
20代	237 名 (42.1%)
30代	4 名 (0.7%)

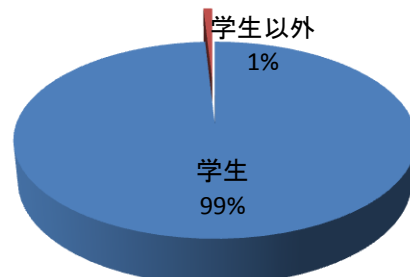
年齢層



(3) 職業

学 生	558 名 (99.1%)
学生以外	5 名 (0.9%)

職業



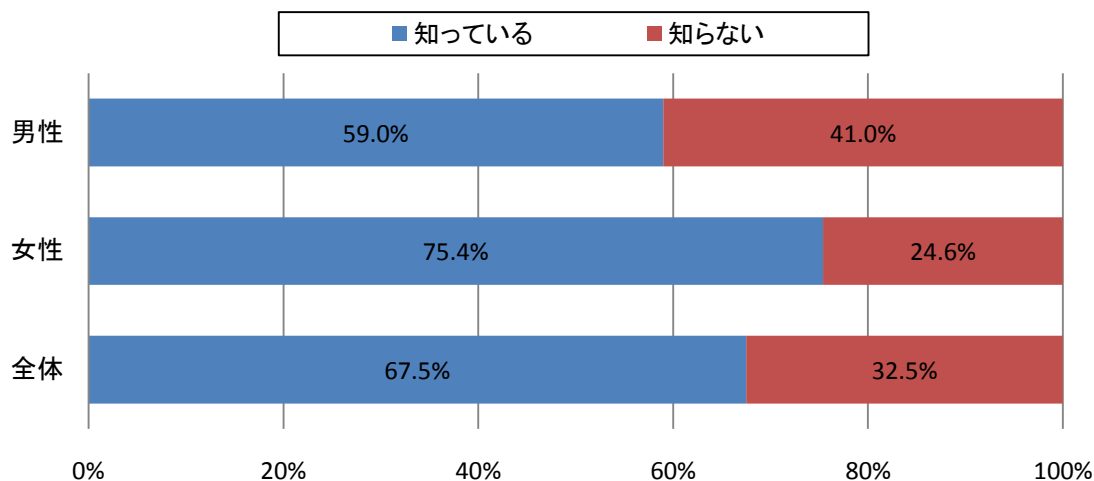
2 米粉利用食品の認知度

従来、小麦粉等を主原料として加工されてきた一般的な、パン・めん等の製品に対して、小麦粉等の部分を米粉に代替して加工した所謂、米粉パンなどの米粉利用食品について認知度を設問した。

「米粉利用食品を知っていますか」との問いに対して、「知っている」との回答割合は、全体で67.5%であった。

男女別にみると、女性における「知っている」との回答割合は、75.4%となっており、男性を上回っていた。

図-1 米粉利用食品を知っていますか

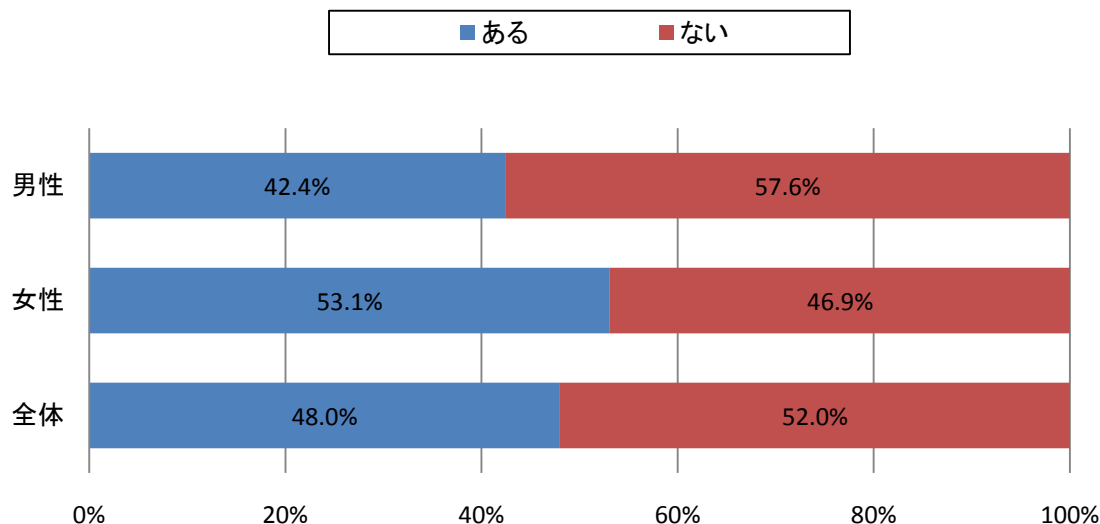


3 米粉利用食品の購入経験

米粉利用食品を「購入したことがありますか」との問いに対して、「購入したことがある」との回答割合は、全体で48.0%であった。

男女別にみると、女性における「購入したことがある」との回答割合は、53.1%となっており、男性を上回っていた。

図-2 米粉利用食品を購入したことがありますか



4 米粉利用食品の購入の状況

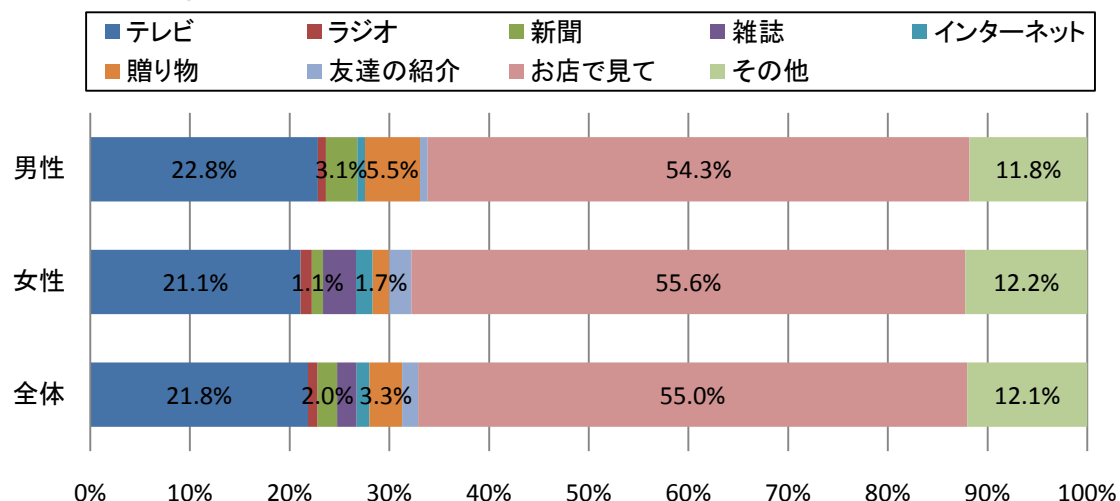
上記3において、「米粉利用食品の購入経験がある」と回答のあった270名を対象に、購入の状況等を設問した。

(1) 購入のきっかけ

「米粉利用食品購入のきっかけはどのようなことですか」との問いに対して（複数回答可）、「お店で見て」との回答割合が男性、女性ともに最も多く、全体で55.0%であった。

次いで、テレビ（21.8%）、その他（12.1%）の順になっており、その他の購入のきっかけとしては、「学校給食で米粉パンを食べたことがあったから」等の回答があった。

図3-1 購入のきっかけはなんですか

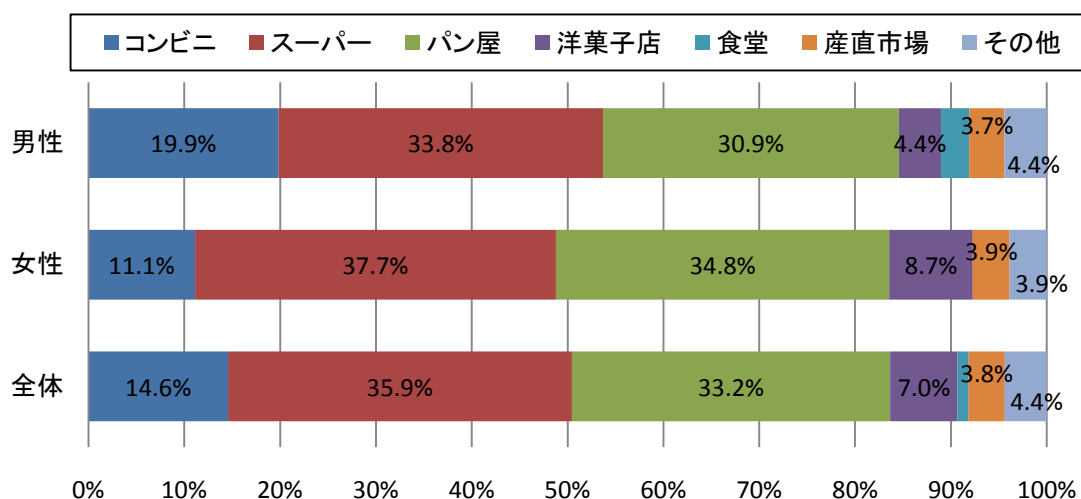


(2) 購入した場所

「購入した場所はどこですか」との問いに対して（複数回答可）、「スーパー」との回答割合が男女とも最も多く、全体で35.9%（男性33.8%、女性37.7%）であった。

次いで「パン屋」が33.2%（男性30.9%、女性34.8%）の順になっており、学生の利用度が高い「コンビニ」は、全体で14.6%（男性19.9%、女性11.1%）であった。

図3-2 どこで購入しましたか

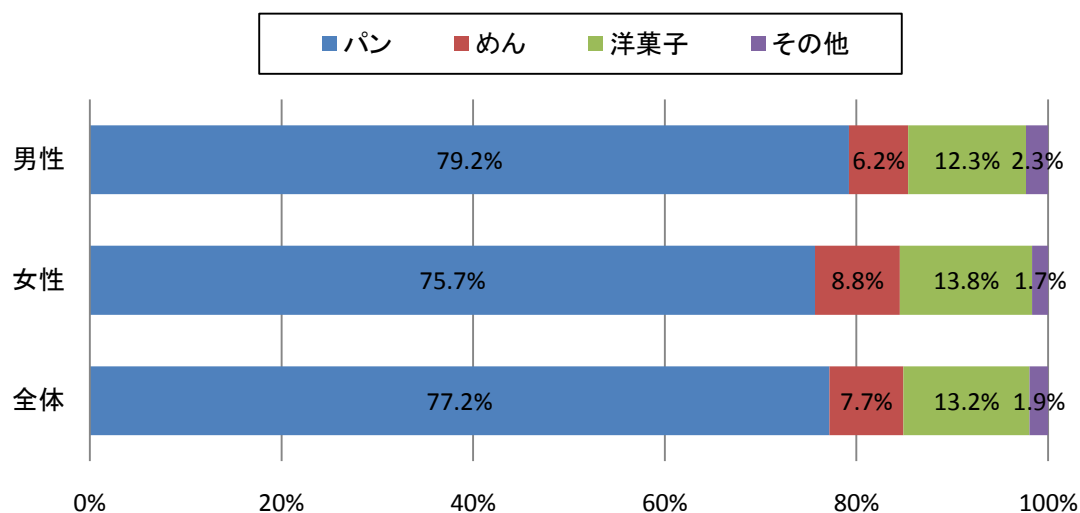


(3) 購入品目

「どのような米粉利用食品を購入しましたか」との問いに対して（複数回答可）、
「パン」との回答割合が男女とも最も多く、全体で77.2%（男性79.2%、女性
75.7%）であった。

次いで「洋菓子」が13.2%（男性12.3%、女性13.8%）の順となっており、「
めん」は、全体で7.7%（男性6.2%、女性8.8%）であった。

図3-3 どのような米粉利用食品を購入しましたか



(4) 食味等

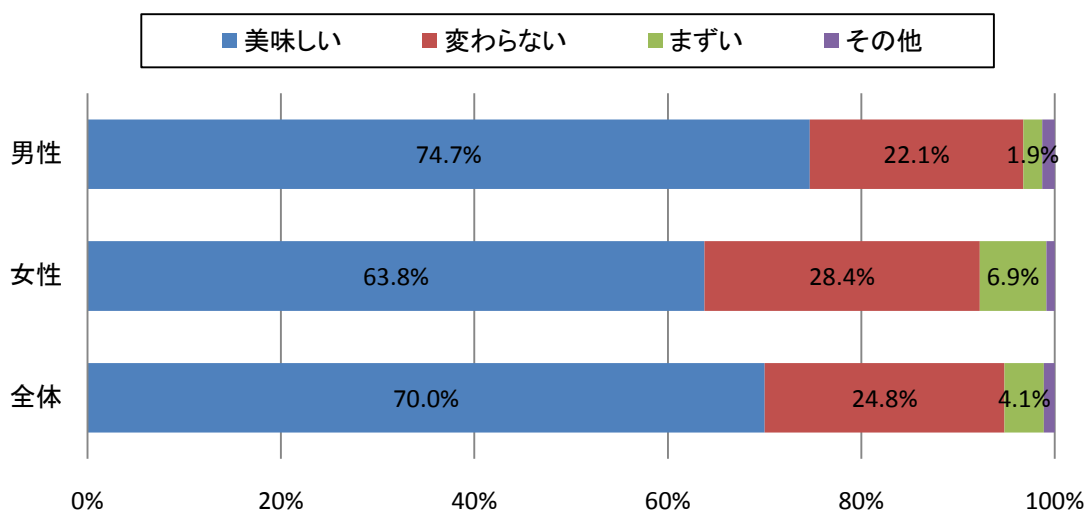
小麦粉等を主原料に加工された一般的な食品に比べてどう感じているか、米粉利
用食品の「味」、「食感」、「外観」及び「価格」について設問した。

① 味

「味はどうですか」との問いに対して、「美味しい」との回答割合は、全体で
は70.0%であった。

男女別にみると、女性における「美味しい」との回答割合は、63.8%となっ
ており、男性を下回っていた。

図3-4 味について

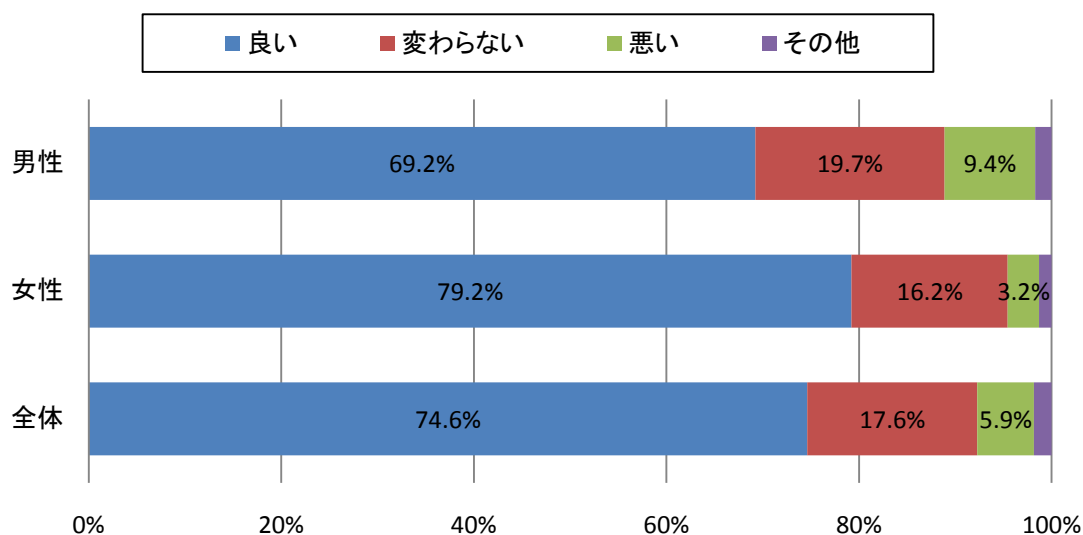


② 食感

「食感はどうですか」との問いに対して、「良い」との回答割合は、全体では74.6%であった。

男女別にみると、女性における「良い」との回答割合は、79.2%となっており、男性を上回っていた。

図3-5 食感について

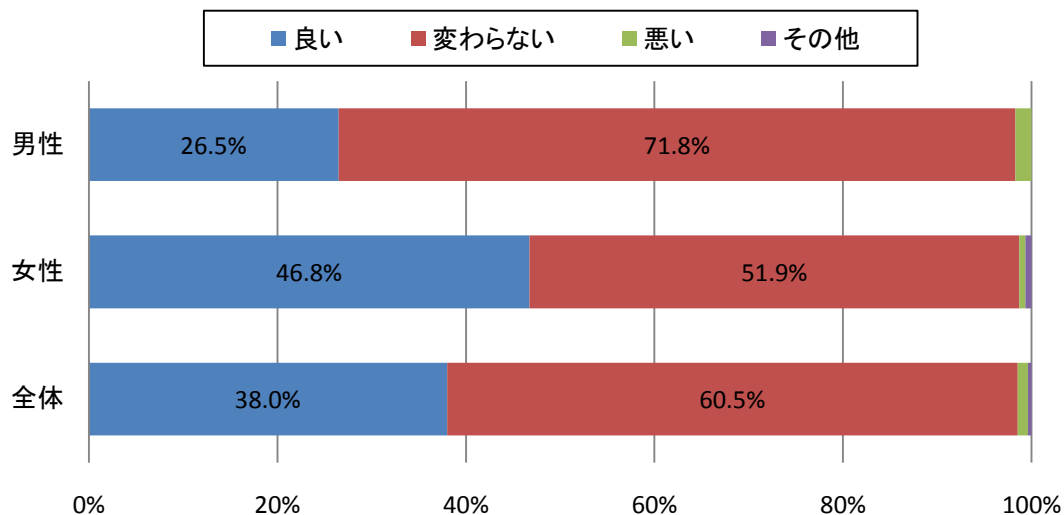


③ 外観

「外観はどうですか」との問いに対して、「良い」又は「変わらない」との回答割合が全体で98.5%であった。

男女別にみると、女性における「良い」との回答割合は、46.8%となっており、男性を上回っている。

図3-6 外観について

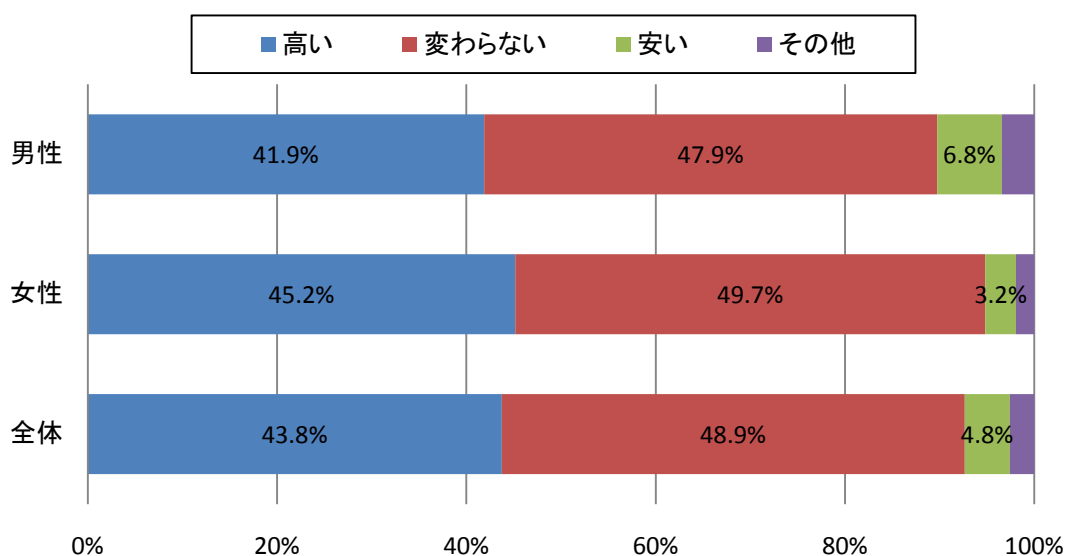


④ 価格

「価格はどうか」との問いに対して、「変わらない」との回答割合が全体で48.9%、次いで「高い」43.8%の順であった。

男女別にみると、女性における「高い」との回答割合は、45.2%となっており、男性をやや上回っていた。

図3-7 価格について

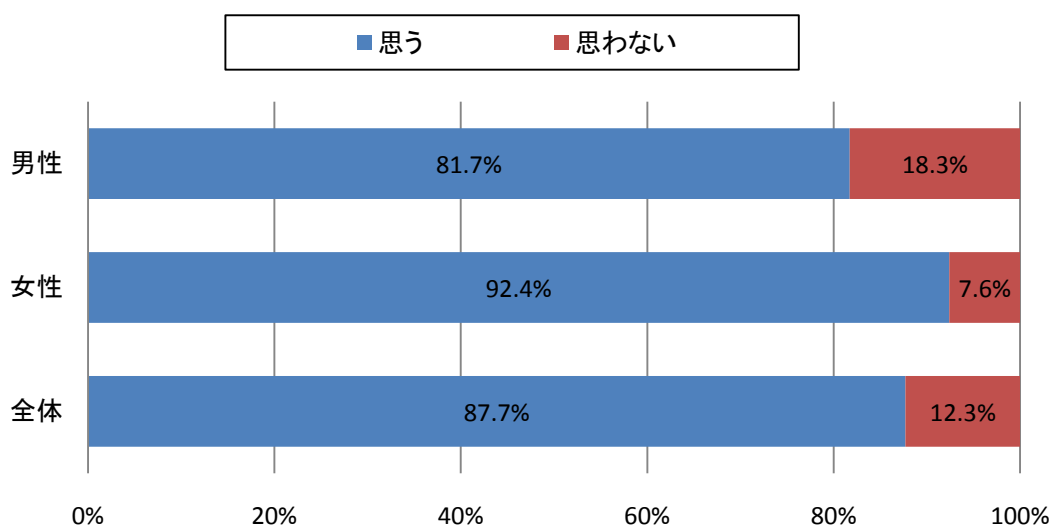


(5) 今後の意向

「今後も米粉利用食品を購入したいと思いますか」との問いに対して、「思う」との回答割合は、全体で87.7%であった。

男女別にみると、女性における「思う」との回答割合は、92.4%となっており、男性を上回っていた。

図3-8 今後も購入したいと思いますか



5 米粉利用食品を知らない又は購入したことのない方の意向

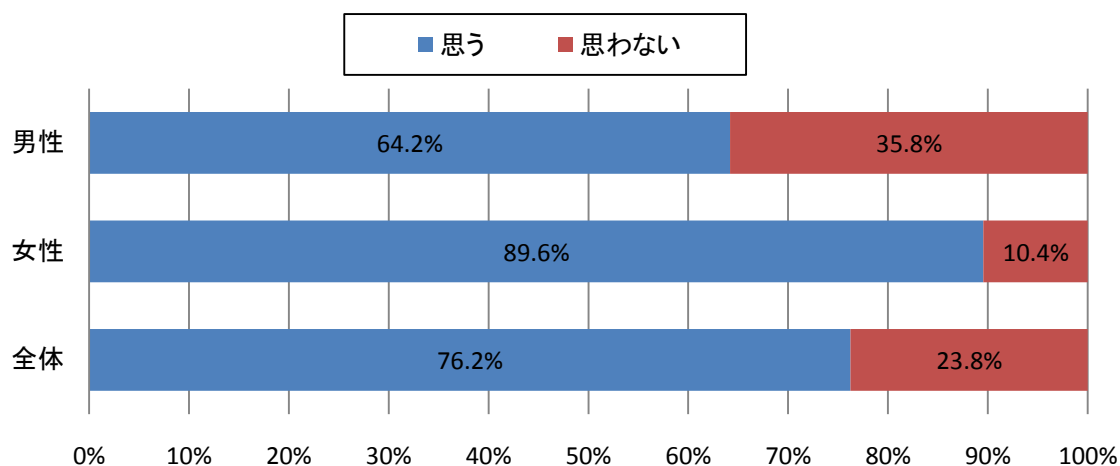
「米粉利用食品を知らない」又は、「これまでに購入したことがない」と回答のあった293名を対象に、米粉利用食品に対する今後の意向を設問した。

(1) 食べてみたいかどうか

「今後、米粉利用食品を食べてみたいと思いますか」との問いに対して、「思う」との回答割合は、全体で76.2%であった。

男女別にみると、女性における「思う」との回答割合は、89.6%となっており、男性を上回っていた。

図4-1 今後、米粉利用食品を食べてみたいと思いますか

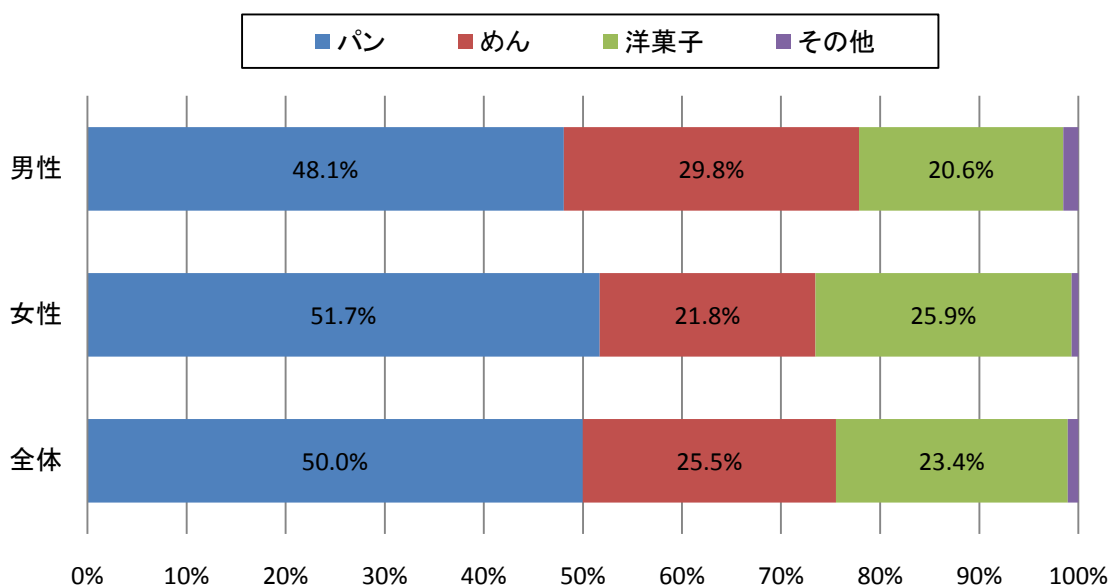


(2) どのような米粉利用食品を食べたいか

「どのような米粉利用食品を食べてみたいですか」との問いに対して、「パン」との回答割合が最も多く、全体で50.0%であった。

次いで、「めん」25.5%、洋菓子23.4%、その他(1.1%)の順となっており、男女別にみると、男性は、「めん」の比率が高いのに対し、女性は、「洋菓子」の比率が高い結果であった。

図4-2 どのような米粉利用食品を食べてみたいと思いますか



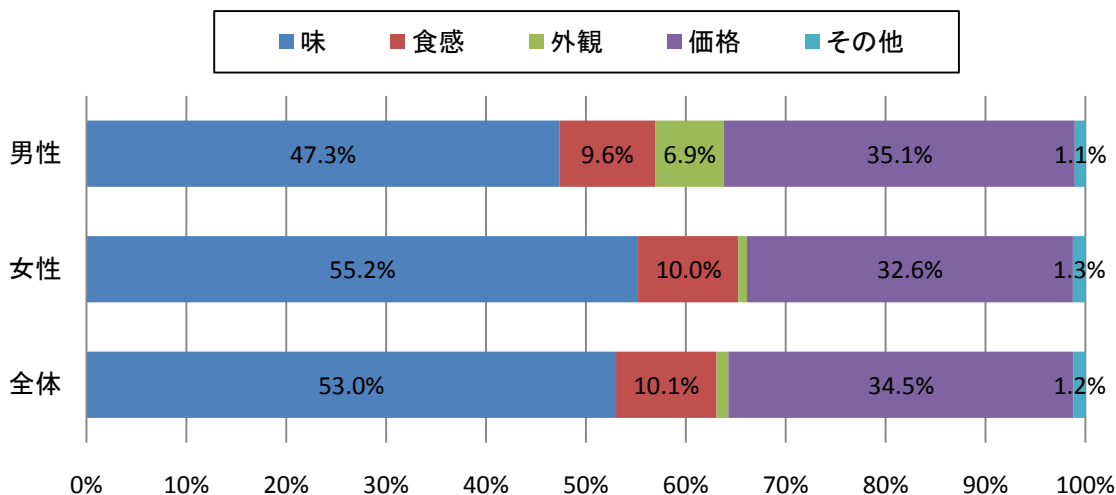
6 購入する際、重視する事項

アンケートの回答者全員563名を対象に、「米粉利用食品を購入する際に、重視する項目はなんですか」との問いに対して、男性、女性ともに「味」を重視するとの回答が最も多く、回答割合は、全体で53.0%であった。

次いで、「価格」との回答割合が34.5%、「食感」10.1%の順となっていた。

男女別にみると、「味」を重視するとの回答割合は、女性が55.2%となっており、男性を上回っていた反面、「価格」及び「外観」を重視するとの回答割合は、男性が上回っていた。

図5 購入する際に重視する項目はなんですか



7 米粉の新たな用途

最後に、現時点では米粉が小麦粉等の代替として主に、パン、めんの原料として使用されていることから、アンケートの回答者全員563名を対象に、「パン、めん以外に、どのような食品に米粉が利用できると思いますか」との問いに対して、お菓子（26%）、ケーキ・カステラ（22%）、お好み焼き（11%）、ピザ生地（10%）等の順であった。

また、少数ではあるが、葛湯のような離乳食（2名）、炭酸飲料（1名）、食べられる食器（1名）、マカロニ（1名）との回答もあった。

図6 米粉は、どのような食品に利用できると思いますか
(パン、めん以外の用途)

